インフルエンザ予防接種を受ける前に

予防接種を受ける際は、予防接種の意味や副反応などをよく理解し、医師とも相談したうえでお決めください。十分に納得できない場合は、接種を受けないでください。

インフルエンザとは？

インフルエンザは、「インフルエンザウイルス」に感染することによって発症します。咳やくしゃみでうつります。普通の風邪にくらべて全身症状が強く、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することも多いです。

予防接種の効果

予防接種後、抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5か月間とされています。発病防止や重症化防止の効果が期待できます。

予防接種を受けることができない人

該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

① 接種当日、明らかに発熱のある人（一般的に37.5℃以上）
② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
③ インフルエンザの予防接種により、アナフィラキシー （急性のアレルギー反応）を起こしたことがあることが明らかな人
④ 医師が不適当な状態と判断した場合

予防接種を受けるにあたり注意が必要な人

該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
② 免疫検査で異常を指摘されたことがある人、過去に免疫不全の診断がされている人
③ 過去の予防接種で接種後2日以内に発熱がみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人
④ 過去にけいれんを起こしたことがある人
⑤ 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系の病気がある人

裏面も必ずお読みください➡

予防接種後の注意事項について

① 接種後30分間は、医療機関で様子をみましょう
② 接種後24時間の体調に注意しましょう
③ 入浴は差し支えありません（接種部位は強くこすらないように）
④ 当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう
⑤ その他、医師の指示にしたがいましょう

副反応について

予防接種部位・・・赤みを帯びる、腫れる、痛む、微熱、悪寒、頭痛、全身のだるさなどがでることがありますが、通常2～3日のうちに治ります。
接種後数日から2週間以内に・・・発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害
非常にまれに・・・ショック、じんましん、呼吸困難

→接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害がのこったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

インフルエンザワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、その健康被害が接種を受けたものによるものであると、厚生労働大臣が認定したときには、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要となる手続きなどについては、角田市健康推進課にご相談ください。

問合せ先

角田市健康推進課
受付時間 8時30分～17時15分
電話番号 0224-62-1192